

宇部高専の杉本名誉教授

イチゴ栽培に貢献

県産技振興奨励で特別賞

第7回県産業技術振興奨励賞の表彰式はこのほど、県庁で行われ、知事賞を受賞したサンポリ（防府市）の開発に貢献した宇部高専の杉本信行名誉教授に知事特別賞、宇部に工場を構える小田産業（阿武町）に県産業技術センター理事長賞が授与された。

サンポリのイチゴ高設栽培システム「らくくっ

ク」は、作業を立ててできるよう開発。移動式にしてスペースを有効利用することで、従来と比べて1・8倍の収量を可能にした。主要部分は再生プラスチックを使用、温度管理も徹底して効率化を図り、農家の初期投資額を低減するとともに、環境にも優しい。1995（平成7）年から研究を開始し、2004年から

移動式の構造計算や低コスト化について、杉本名誉教授と共同研究した。小田産業が開発した複合プラスチックの化学分離によるリサイクル技術は、2種類のプラスチックが複合する自動車内装



表彰を受ける杉本名誉教授（県庁で）

材の端材をアルカリ液に浸し、加熱して攪拌（かくはん）することで、一方を完全に分解除去し、主成分のポリプロピレンを再利用する。燃料利用がほとんどだったものを、新品と同様の品質を可能とした。

式には、サンポリの鹿嶋英一郎社長、杉本名誉教授、小田産業の小田茂正社長が出席。村岡嗣政知事は「優れた技術は、産業界振興にとつて心強い。地域経済の活性化、雇用の創出にも期待している」とたたえた。

（岩本）